

しえん 支援センターNews

4月

おとくに えんちいきせいかつしえん せん たー
乙訓ひまわり園地域生活支援センター
発行日 2020年4月25日
編集：水谷 友依

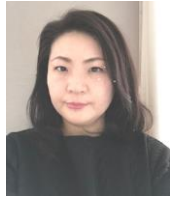
れいわ ねん がつ
令和2年4月

新年度が始まりました。今年度は以下の職員体制で支援を行ってまいります。よろしくお願ひ致します。コロナウイルスがますます広がりをみせ収束の目処が立っていません。支援センター内では消毒や空気の流れ替えなど様々な対策を講じています。手洗い、うがい、マスクの着用など私たちにもできることを徹底し、感染予防に努めて参ります。(水谷)

れいわ ねん どしよくいんしょうかい 令和2年度職員紹介



・ジョイフル東ノ口



かわはら えり
河原 絵理
センター長
(センター長)



くろしま あきこ
黒島 明子
(事務)

<グループホーム事業>

・ジョイフル山ノ下

・ジョイフル神足



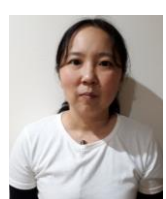
うちだ けいひこ
内田 圭彦
(主任)



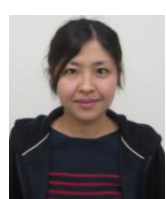
こんどう かんせい
近藤 幹生



よしだ きょうこ
吉田 恭子



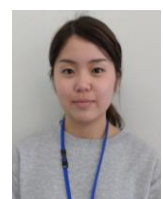
かたやま あい
片山 愛



なかむら ようこ
中村 陽子
(主任)



よしざわ ひさこ
吉澤 久子



みずたに ゆい
水谷 友依

<短期入所事業・サポートステーション事業>

・サポートステーション事業



おかもと たかこ
岡本 貴子
(主任)



やぎ たつや
八木 達也
短期入所事業



きたい りょうた
北井 亮汰



やまもと なおみ
山本 直美



みやけ ともひろ
三宅 智広



たなか ひでき
田中 秀樹



こばやし けいこ
小林 恵子



かんだ べに
神田 べに

☆ヘルパー&サポーターの皆さん 《第1弾》



いのうえ まこと
井上 眞子



ら きんとう
羅 錦涛



わかづ あきら
若津 昭



おかだ はるこ
岡田 春子



くろかわ あやこ
黒川 章子



まえかわ いくこ
前川 生孔



たなべ かずこ
田辺 和子



いりえ さだちよ
入江 貞千代



はやし ゆきみ
林 由紀美



こむろ きく
小室 喜久



いとう のぶまさ
伊藤 信正



あきはば ちあき
秋葉 千明



しみず たいざう
清水 大蔵



つじ ひろこ
辻 浩子



しらたに ゆうじ
白谷 裕二



いわふじ ちえみ
岩藤 千江美



いかわ よしこ
五十川 佳子



てらだ まりこ
寺田 方里子



よねはら よしえ
米原 よし江



つたや ゆみこ
薦谷 由美子



かわうち ひさこ
河内 久子



くりばやし みえ
栗林 みえ



つじうら としえい
辻浦 登視栄



こいずみ しのぶ
小泉 しのぶ



かわさき たけし
川崎 たけし

【短期入所】

コロナ対策として、例年のインフルエンザ対策同様に定期的に空気の入替え、加湿器での空気清浄、支援センター内の消毒液での定時清掃を行っています。利用者の方には、検温、手洗い、うがいのご協力を頂いています。

宿泊の際、利用者の方のリクエストでドラマ、歌番組、映画など録画して、利用される際に観て頂いています。出来る範囲ではありますが利用者の方のリクエストにお答えしたいと思います。

短期入所のご利用の際は障害福祉サービス受給者証、日中一時のご利用時には地域生活支援事業受給者をお持ちください。また、両受給者証が更新された際、コピーを頂きますのでご理解の程よろしくお願い致します。(三宅 智広)



【サポートステーション】

サポートステーションはガイドヘルプ、ホームヘルプ等の支援を主に担っております。ガイドヘルプは介助が必要な方が外出される際に、必要な支援を行います。ホームヘルプは、介護を必要とされる方のご自宅を訪問して、食事や入浴や通院のお手伝い等、様々なニーズに沿って支援を行います。

ガイドヘルパーは、ご利用者の自立と地域社会への参加を支援する為に、ホームヘルパーはご利用者とそのご家族が、住み慣れた地域の中で、生き生きと生活できるようサポートしています。コロナウイルスが猛威をふるっている昨今、不要不急の外出以外はしないでくださいと言われていますが、私たちに求められる支援は必要不可欠なものばかりです。

今まで通りの外出は難しくなっておりますが、現状でも利用される方が納得していただけるような支援を目指していますので、ぜひ支援に関して迷っておられましたら、ご相談ください。(八木 達也)

社会福祉法人 向陵会
基本理念「共生」
すべての利用者とその家族が
地域の中でいきいきと
生活することを願い、
地域とともに「共生」を目指します。



【グループホーム】

今年度も引き続き、3か所のグループホームの運営を継続していきます。

現在、ジョイフル東ノ口について改修工事を行っており、まもなく完了の見込みです。年度前半には共同生活援助の定員増を行い、追って短期入所事業所の開設も予定しています。

住み慣れた地域で、慣れ親しんだ人たちと暮らし続けるための資源として、グループホーム事業が果たすべき役割の大きさ、そしてホーム拡充への期待の高さを、ひしひしと感じています。今回の定員増のさらに先を見据えて、現入居者の皆さんの生活を支えながら、支援者の確保や人材育成など、今できることを着実に積み重ねる年度にしたいと考えています。(内田 圭彦)

＜支援センターより＞

いつも地域生活支援センターをご利用頂きましてありがとうございます。

支援依頼決定通知書が届きましたら、支援内容を必ず確認頂きますようお願いいたします。
支援依頼決定通知書の内容が確定の支援です。ご依頼いただいた支援が調整できていない場合がありますので必ずご確認ください。

◎金品の受け取りについて

利用者の方からの、差し入れ、お土産等はお受けすることができません。お気持ちだけ受け取り、お断りさせていただいております。ご了承ください。
何かご不明な点等ございましたら、支援センターまでご連絡ください。

編集後記

近年、地震、台風、土砂災害、そして、新型コロナウイルスの流行拡大と問題は、目を追うにしたがって深刻さが増しています。不要不急の外出制限がある中ですが、支援センターとしては、感染予防対策を続けながら、いつもの毎日をそして必要な支援が届けられるよう、職員一同笑顔を絶やさず元気をモットーに取り組んでいます。

感染症予防については、確実に職員の意識が高くなり、知識も増え、職員一人一人予防対策が自然にとれるように身につけてきました。①感染源の排除②感染経路の遮断③宿主(ヒト)の抵抗力の向上と三つの対策を柱とし、その対策は通常から求められています。まずは、新型コロナウイルスの感染・拡大防止、早期終息に向け願いを込めて必死に対策を続けていきます。そして、今起こっているこの現象を「人として、支援者としての学び、経験」として受け止め、この困難な状況を職員とともに乗り越え職員集団として更なる成長ができたらと考えています。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

センター長 河原 絵理